

南 校 通 信

愛媛県立宇和島南中等教育学校
R7.4.28 発行

日	曜日	5 月 の 行 事 予 定	給 食
1	木		○
2	金	眼科検診抽出者(13:30)	○
3	土	憲法記念日	
4	日	みどりの日	
5	月	こどもの日 全統記述模試(6年)	
6	火	振替休日 全統記述模試(6年) 全統模試(5年)	
7	水	中間考査発表	○
8	木	全校集会(表彰) 貧血検査(14:00) 尿検査予備日	○
9	金	進路意識を高める日 授業公開日[全学年](午後) P T A総会(15:50体育館) 邦楽・ダンス・吹奏楽発表(16:35) 進路説明会[6年保護者](17:00)	○
10	土		
11	日		
12	月		○
13	火	中間考査①	×
14	水	中間考査②	○
15	木	中間考査③ 3年特時 歯科衛生士奨学金説明会(12:20)	○
16	金	中間考査④ 3年特時 第1回P T A役員会(17:30会議室) 第1回P T A懇親会(19:00) 後期生心肺蘇生法講習会	○
17	土		
18	日		
19	月	教育実習(～6/6) 短縮40分授業 開校記念講演会(9:00～10:00体育館)	○
20	火		○
21	水	午前中短縮45分授業	○
22	木	全校集会	○
23	金	人権を確かめあう日	○
24	土		
25	日		
26	月	全校集会壮行会	○
27	火	市郡中学総体(～5/29) 前期生3限後放課	×
28	水	歯科検診(5・6年13:30～15:30) 前期生3限後放課	×
29	木		×要弁当
30	金	県高校総体(～6/2) 特別時間割5時限	○
31	土		
備考			
※ ○は給食あり ×は給食なし			

「南中八策」で学校を創る

校長 中村 惣一

幕末の動乱期、坂本龍馬が中心となって考えられた、新しい日本のあり方を示す重要な指針を「船中八策」と言います。具体的には、慶応3年（1867年）に土佐藩の後藤象二郎に対し、船の中で提示されたとされています。その内容は、当時の日本の課題を克服し、近代国家を建設するための革新的な提案でした。

主な内容は以下の八つです。【参考】坂本竜馬の人生訓（童門冬二）

- 1 天下の政權を朝廷に奉還せしめ、政令よろしく朝廷より出づべき事
- 2 上下議政所を設け、議員を置き、万機を参贊せしめ、万機よろしく公論に決すべき事
- 3 有材の公卿・諸侯及び天下の人材を顧問に備え、官爵を賜ひ、よろしく従来有名無実の官を除くべき事
- 4 外国と交際広く公議をとり、新に至当の規約を立つべき事
- 5 古来の律令を折衷し、新に無窮の大典を撰定すべき事
- 6 海軍よろしく拡張すべき事
- 7 御親兵を置き帝都を守衛せしむべき事
- 8 金銀物価よろしく外国と平均の法を設くべき事

これらの内容は、王政復古、議会政治の導入、人材登用、対等な外交、軍事力の強化、貨幣制度の改革といった、明治維新の方向性を決定づけるものでした。「船中八策」は、龍馬の先見の明と、日本の未来に対する強い危機感、そして革新的な構想を示すものとして、歴史的に非常に重要な意味を持っています。

そこで、宇南中等生の更なる成長と宇和島南の明るい未来につなげるよう、「船中八策」にちなんで、「南中八策」を本校マニフェストに準じて考えてみました。

- 1 一人一人の個性や能力を最大限の延ばし、希望する進路実現 100%を目指します
- 2 南中生らしい身だしなみや元気な挨拶ができる生徒 100%を目指します
- 3 相手を思いやり仲間との絆を深められる生徒 100%を目指します
- 4 豊かな創造性と、高いコミュニケーション能力を備えたグローバル人材を育成します
- 5 地域 DX を支えるデジタル人材を育成します
- 6 地域、保護者に開かれた活力あふれる学校を目指します
- 7 生徒も教職員も勇気を持って変化（成長）できる学校を目指します
- 8 生徒も教職員も全力で楽しむことができる学校を目指します

校長として本校へ赴任した2年前に、次のことを申し上げました。

「学校の変革に向け激動の時代を迎える本校ではありますが、高い志を抱いて南中に入学してくれた生徒たちを、時代に求められる国際感覚豊かな有為な人材に、また、思いやりにあふれた心豊かな人材に育成していこうという思いに変わりはありません。どのような状況であれ、南中生が、この与えられた環境のなかで最善を尽くすことで目標を達成し、南中でよかったと誇りを持って巣立ってくれるよう導くことが、私たちに課せられた使命であると自覚し、教育活動に邁進してまいります。」

「初心忘るべからず」を肝に銘じて、現状維持に甘んじることの無いよう、今年度も前進してまいります。